

「第9期鳩山町高齢者福祉総合計画」策定に係るヒアリング結果

事業所名	GH 五感の里 花みずき (現：愛の家 GH 鳩山)	社会福祉法人 鳩山松寿会	デイサービス ねむの木	居宅介護支援事業所 麻見江
回答者ご氏名	松田 善行	島田 広	成塚 光代	長島 昌子
(1) 貴団体の活動を行ううえで、困っていること、課題などがありますか。	特にありません	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足 ・生活施設としての感染対策(家族の面会等) ・認知機能の低下による介護困難者のニーズが増加している 	外出の機会が少ない高齢者が多いので、散歩の時間を多めに取っていますが、行き先が限られています。(農村公園や神社) 農村公園も、季節の花をもっと楽しめれば良いと思います。	親と子ども世帯が別々に住む「核家族」が多く、離れて生活する期間の中でお互いの関係性が希薄となり、親が高齢となり生活に支援が必要な状態になっても、子どもの介護への関心が低く、支援が得られにくい例が見られてきている。
(2) 日ごろの生活のなかで、鳩山町にはどのような福祉に関する課題があると思いますか。	相談等しやすい役場なので大丈夫です。	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな課題は感じられない。小さい町なりの関係性が出来てきており、福祉サービスも充実しているように思う。 ・あえて考えるならば、健康長寿の方が多い現在から一気に支援が必要な人が増えたら対応できるのだろうか？ ・1世帯当たりの人数減少と老々介護、認認介護が増加しサービス導入の緊急性が高い方の増加 ・介護する方(家族)が社会から孤立 	転居されて鳩山町に在宅している高齢者が多いので、近所間での交流がほぼないのが問題と思います。	運転免許返納の意識は高いが、生活が不便になることへの心配がある。日常生活を営むにあたり、必要な町内外への移動手段の充実

「第9期鳩山町高齢者福祉総合計画」策定に係るヒアリング結果

事業所名	グループホーム 五感の里 花みずき	社会福祉法人 鳩山松寿会	デイサービス ねむの木	居宅介護支援事業所 麻見江
回答者ご氏名	松田 善行	島田 広	成塚 光代	長島 昌子
(3)これらの課題解決のために、どのような解決方法があると思いますか。また、貴団体として何か取り組まれていること、取り組めることはありますか。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者に対する支援は充実してきているが、突発的な保護が必要なケースや、支援が必要になった時に対応がバタバタしている。マニュアル化されているのか？ ・体操教室等の送迎 ・認知症サポーター養成講座への講師派遣 ・介護相談窓口の設置 ・福祉避難所の登録 	近所での交流や、高齢者が日中過ごせる場所がプラザ以外にも必要ではないかと思えます。鳩山は坂も多く、独歩にて通える方しかプラザを利用できないのが現状かと思えます。送迎等利便性の向上が必須かと思われます。	
(4)鳩山町の高齢者福祉に関する取り組みを充実するためのご意見、ご提言等があればご記入ください。	可能なら、広域保険連合を組んだほうが、ご利用者の選ぶサービスが増えると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険でまかなえない介護サービスの創設 ・超高齢化に対応できる組織作り ・実態把握、健康管理と介護リスクのセミナー ・今元気な方も支援が必要になるかもしれないという危機感 		子どもからのサポートが少ない事例もあり、高齢者の生活を支えるためには、公的なサービスだけでなく、地域社会全体での「支え合い」「助け合い」等のインフォーマルなサービスの充実が重要

「第9期鳩山町高齢者福祉総合計画」策定に係るヒアリング結果

事業所名	彩西ケアプランセンター鳩山	彩西療養通所介護鳩山	彩西訪問看護ステーション
回答者ご氏名	管理者 佐藤 美佐子	管理者 吉村 百合	管理者 羽入田 勝美
(1) 貴団体の活動を行ううえで、困っていること、課題などがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 安心サポートをもう少し使いやすくしてほしい。 ② 独居で身寄りがなく、意思確認が取りにくい方の支援について。 ③ 定員オーバーで新規ケアプラン作成依頼に対応ができない場合がある(状態変化がある方が多いため、入院・入所・死亡等で日々変化があります) 	<ul style="list-style-type: none"> ①町民の方へのPR活動。 (療養通所介護について周知して頂く。) ②療養通所介護のニュースへの対応。 ③症状が変化する方が多い為(入院、入所、死亡等)利用者数が安定しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ①訪問看護サービスの拡充。 ②症状が変化する方が多い為(入院、入所、死亡等)利用者数が安定しない。
(2) 日ごろの生活のなかで、鳩山町にはどのような福祉に関する課題があると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 親子間での問題がある家庭では、介護サービスで関わる場合、介護保険だけでは支援が難しいケースが増えていること。 ② 高齢化が進むにつれて介護保険サービスを含む福祉サービスを必要とする方が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者が増加するなかでサービスの利用につながらない方が大勢いるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者が増加するなかでサービスの利用につながらない方が大勢いるのではないか。 ②独居の方の生活上のニーズに対して、きめ細やかに把握し、必要時は各事業所に連携してもらいたい。
(3) これらの課題解決のために、どのような解決方法があると思いますか。 また、貴団体として何か取り組まれていること、取り組めることはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護サービスで関わる時に必要に応じて包括的支援ができるようにしていけると良い。 ② 地域包括支援センターに協力を受ける、協力を依頼する等で問題解決に取り組んでいます。 ③ ケアプラン作成のニーズに対応できるように事業の拡充に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①療養通所介護事業を拡充する。 令和5年度から1日の利用者の定員を1名増やす予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域包括支援センターとの連携。 ②訪問看護のスタッフの増員を含めた訪問看護事業の充実。

「第9期鳩山町高齢者福祉総合計画」策定に係るヒアリング結果

事業所名	彩西ケアプランセンター鳩山	彩西療養通所介護鳩山	彩西訪問看護ステーション
回答者ご氏名	管理者 佐藤 美佐子	管理者 吉村 百合	管理者 羽入田 勝美
(4) 鳩山町の高齢者福祉に関する取り組みを充実するためのご意見、ご提言等があればご記入ください。	<p>① ボランティアの年齢の若返りをめざす。 近隣の大学等の学生にボランティアを依頼する。</p> <p>② リハビリデイサービスがあると良い。</p> <p>③ 介護保険に関係なく入浴だけ受けられるサービスがあると良い。</p>	<p>①事業者間の連携が大切だと思う。</p>	<p>①個別に応じて医療関係・福祉関係・自治体関係等の連携を密にする。</p>

「第9期鳩山町高齢者福祉総合計画」策定に係るヒアリング結果

事業所名	デイサービスセンター ポラリス	居宅介護支援事業所 ほっとみるく鳩山	鳩山町民生委員・児童委員協議会
回答者ご氏名	監物真由美	吉田美紀	高齢者部会
(1) 貴団体の活動を行ううえで、困っていること、課題などがありますか。	人材不足 コロナ禍における活動のマンネリ化	介護保険サービス以外(インフォーマルサービス)の最新情報を共有できると助かります。	・毎月実施している「いきいきサロン」への参加者がコロナ前と比較して減少している。 ・サロンへの参加を促しているが、会場までの移動が難しいので参加できない方が多い。
(2) 日ごろの生活のなかで、鳩山町にはどのような福祉に関する課題があると思いますか。	リハビリ施設がない。	高齢者単身世帯割合が14.1%、老年人口割合が45.1%と町全体に高齢者の割合が増え、将来の老年人口割合は65.2%となり、介護保険サービスも限られる中、町全体で支え合う独自サービスの仕組みを見直す課題があると思います。	・高齢者半数の町であるため高齢者が望む様々な事柄を掘り起こし気軽に相談できる体制をより充実させる。(押しかけ相談体制整備) ・買い物が大変な人が増えていると思う。
(3) これらの課題解決のために、どのような解決方法があると思いますか。 また、貴団体として何か取り組まれていること、取り組めることはありますか。	個別機能訓練の実施。 要支援利用者対象の機能訓練が行えていない。 集団体操などの身体を動かす機会の確保。 レクリエーションを通した脳トレ等。	介護保険や予防教室、地域に関わりのある方以外の制度の狭間で見えない困りごとを地域ごと(NT、今宿、亀井)で拾い上げ、個々の課題ではなく地域の課題として、地区ごとに必要な支援を検討しインフォーマルサービスを構築していく。現在取り組んでいる事はないですが、介護サービスを通じて課題を拾い上げ、地域問題として提供したい。	・避難行動要支援者制度のみならず、支援が必要な世帯は他にも存在すると思われるため、地域内の悩み・困りごと等を大字やボランティアの協力を得て充実させる。 ・コロナ禍の影響もあってサロン参加者が減少しているため、参加をより促す方法を検討している。 ・ご近所の方同士で助け合うことも大切だと思う。

「第9期鳩山町高齢者福祉総合計画」策定に係るヒアリング結果

事業所名	デイサービスセンター ポラリス	居宅介護支援事業所 ほっとみるく鳩山	鳩山町民生委員・児童委員協議会
回答者ご氏名	監物真由美	吉田美紀	高齢者部会
(4) 鳩山町の高齢者福祉に関する取り組みを充実するためのご意見、ご提言等があればご記入ください。	他の市町村に比べきめ細やかにされていると思います。	町全体の人口高齢化率がこの先もっと高くなるので、日常生活に直結する買い物・洗濯・掃除・ゴミ出し等、また引きこもり予防するコミュニケーションを潤滑に行えて顔の見える近隣住民のしくみ作り（安否確認）、困りごとを抱え込まないよう自助・互助・共助・公助に分けて支援する仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、足が悪く移動に不自由している高齢者が多く見受けられるため、買い物や通院・イベント・体操などへの移動手段を充実させる必要がある。（新たな町独自の移動体制整備の検討） ・それぞれ町内会から地域の様子を聞くことが大事だと思う。困りごとは地域によって違うと思うので。